

## つるたを照らして20年・はげます会

2月22日(日)、町内某所において、今年で20周年を迎えるツル多はげます会(三上孝夫会長)の「新春の有多毛」が開催されました。

今回は、会員30人のうち16人が参加し、恒例の吸盤綱引きトーナメント大会が行われました。1回戦の組み合わせで千葉県と北海道の会員の遠方対決が実現して、全国に輪を広げる大会となり、また、太田昭司さんが通算3度目の優勝を成し遂げ、第10代のグランドチャンピオンが誕生するなど、節目にふさわしい盛り上がりを見せた大会となりました。

幹事長の竹浪正造さん(92)は、「今年20年目を迎え、会員も高齢化してきましたが、何とかできる限り続けて世の中に平和の光を照らしたい。はげます会は光ってなくてもだれでも会員になれますのでいつでもどうぞ。」と述べ、この会の存続を願っていました。



千葉県と北海道の遠方対決で大いに盛り上がる。



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線263)

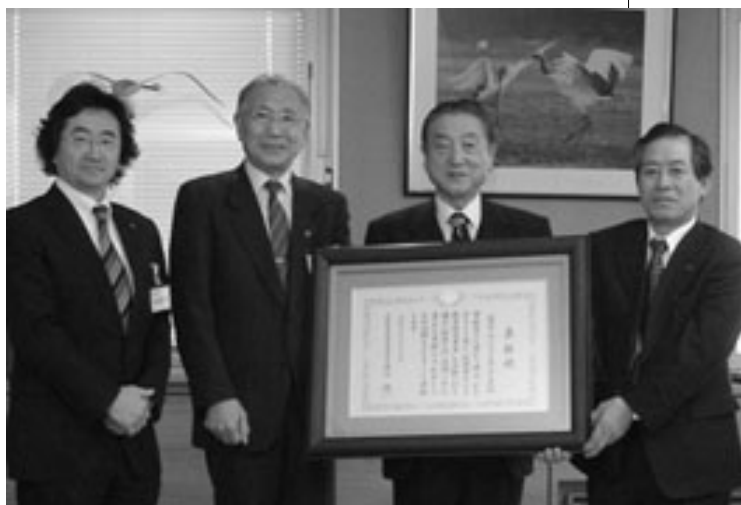
## サンシャインスクールくるみが全国表彰

2月25日(水)、パナソニックセンター東京(東京都江東区)において、文部科学省主催「第1回放課後子ども教室推進表彰」が行われ、胡桃館小学校で行なわれている「サンシャインスクールくるみ」(放課後子ども教室)が文部科学大臣表彰の栄誉に輝きました。

この表彰は、文部科学省から補助金を受けて、「放課後子ども教室」を開催している中から、優れた活動を行っている教室に対して贈られるもので、今年、全国から65の教室が表彰を受け、県内では本教室が唯一の受賞となりました。

サンシャインスクールくるみは、既存の学校施設を活用して、「放課後子ども教室」を開設した例の先駆けであり、現在も学校児童数68人中65人が利用して活発に活動していることなどが認められ今回の表彰にいたりました。

サンシャインスクールくるみの皆さんおめでとうございます。



△県内から唯一の表彰となり喜びもひとしおです。

## 子どもから大人への志を・立志式

2月10日（火）、鶴田中学校（稲場締男校長）で、2年生153人（男81人、女72人）が、元服に由来した成人の儀式である立志式に臨みました。式辞の中で稲場校長は「失敗を恐れるな、何もしないことを恐れよ」と生徒にエールを贈ると、生徒代表の宮原大輝君は「この立志式を機会に、けじめをきちんとつけ、自分から積極的に行動できるよう努力していきます」と誓いの言葉を述べました。

この日生徒たちは来賓や保護者に見守られる中、それぞれに志を立て、将来の目標に向かってがんばることを誓いました。



△誓いの言葉を述べる宮原大輝君



△生徒の顔が何かしら大人びて見える

## 伝統を引継ぐ・富士見小獅子舞

2月18日（水）、富士見小学校（工藤志津子校長）で、「獅子舞引き継ぎ式」が行われ、6年生から5年生へ獅子頭や衣装、笛太鼓の引き継ぎが行われました。

式は、全校児童96人と獅子舞を指導する「富士見小獅子舞応援隊」のみなさんが参加し、6年生14人が最後の舞を披露した後、雄獅子を演じた佐野一輝君が「伝統をしっかり受け継いでいってください」と述べ5年生たちへ獅子舞が引き継がれました。



△舞を踊りきった獅子たち

富士見小では、約400年前から木筒地区に継承されてきた「西中野獅子舞」を後世に伝えようと、統合前の旧木筒小学校時代から学校活動の一環として取り入れられています。



△最後の舞を力強く演じる児童たち

## 英会話に親しむ1日 胡桃館小イングリッシュデー

2月17日（火）、胡桃館小学校（今 信夫校長）で日ごろの英語活動の成果を披露する「English Day」が行われました。

全校児童68人が2人1組になり、劇団や映画のオーディションを受ける設定で英語劇を行い、合格すると契約金としてコインがもらえ、そのコインを集めてキャンディー・カフェ・ビンゴコーナーで買い物やゲームをして楽しむ内容となっていました。

各コーナーには英語語指導助手や国際交流員がいて、児童たちはすべて英語で会話をしなければなりませんでしたが、楽しみながら、日ごろの勉強の成果を発揮していたようです。



△表情豊かに演じる児童



△「カフェ・クルボックス」では英語でドリンクを注文